

新宮一成教授 退職記念号

# 人間存在論

2016  
第22号

# MENSCHENONTOLOGIE

京都大学  
大学院人間・環境学研究科  
『人間存在論』刊行会

『人間存在論』刊行会 編集委員

新宮 一成 富田 恭彦 佐藤 義之 安部 浩  
戸田 剛文

第23号に投稿御希望の方は編集委員までお申し出下さい。御投稿いただいた論文は、編集委員会の審査を経て、採否を決めさせていただきます。

第23号締切：平成28年11月末日

事務局：〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

京都大学大学院人間・環境学研究科 A405 (戸田剛文)

Tel: 075-753-6541

表紙デザイン：内藤 可夫

『人間存在論』第二十二号 新宮一成教授 退職記念号

京都大学大学院人間・環境学研究所の新宮一成教授が、二〇一六年三月をもって、定年により退職なされました。

新宮教授は、これまで本研究科のため、また『人間存在論』編集委員として、多大なるご尽力をなされてまいりました。

ここに感謝の意を表し、『人間存在論』第二十二号を、新宮教授の退職記念号とさせていただきますと思います。

# 『人間存在論』第二十二号

## 目次

〔新宮一成教授退職記念論文〕	
経営、強迫性、欲望、そして解釈……………	イアン・パーカー……………一
蝶としての魂、あるいは蝶の魂……………	マイケル・ラディッチ……………一七
「その死人を葬ることは、死人に任せておくがよい」	
——新宮一成教授の論文「精神分析における、死体現象、国家統制、 そして不可能なもの伝達」の余白に寄せるいくつかの省察……………	イヴ・マリ・アリユール……………二九
「ロックと言えはタブラ・ラサ」考……………	富田 恭彦……………四三
レヴィナス「存在するとは…」における倫理的主体の受動性をめぐって……………	佐藤 義之……………四九
〈我あり (sum)〉の確実性	
——フッサールとハイデガー……………	安部 浩……………六三
ロックとリードによる懐疑主義批判	
——プラグマティズム的観点から……………	戸田 剛文……………七七
〔一般論文〕	
究極の哲学	
——その核心への問い……………	李 洙正……………九一
ハイデガーの道程……………	
存在史的自民族中心主義から東西対話への途上で……………	ブレット・デービス (酒詰 悠太訳)……………一〇三
三木清の回心……………	玉田 龍太郎……………一七
ハイデガーにおける脱・底的根拠としての存在	
——「戯れるから戯れる」という根拠づけへの移行……………	中川 萌子……………一三一
新宮一成教授業績一覧……………	……………一四五
執筆者一覧……………	……………一五三
欧文要旨 (Zusammenfassungen der Beiträge)……………	……………三
欧文目次 (Inhaltsverzeichnis)……………	……………一

『人間存在論』刊行会 編集委員

新宮 一成 富田 恭彦 佐藤 義之 安部 浩  
戸田 剛文

第23号に投稿御希望の方は編集委員までお申し出下さい。御投稿いただいた論文は、編集委員会の審査を経て、採否を決めさせていただきます。

第23号締切：平成28年11月末日

事務局：〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

京都大学大学院人間・環境学研究科 A405 (戸田剛文)

Tel: 075-753-6541

表紙デザイン：内藤 可夫

# ***MENSCHENONTOLOGIE***

*Band 22 2016*

Herausgegeben von  
Kazushige Shingu  
Yasuhiko Tomida  
Yoshiyuki Sato  
Hiroshi Abe  
Takefumi Toda

Graduierten-Schule für Menschen- und Umweltforschung,  
Universität Kyoto  
Yoshida-Nihonmatsucho, Sakyo-ku, 606-8501 Kyoto / Japan

ISSN 1341-2698

人間存在論 第22号

平成28年7月1日発行

---

編集・発行	京都大学 大学院人間・環境学研究科 【人間存在論】刊行会 〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
印刷	株式会社 コームラ 〒501-2517 岐阜市三輪ふりとびあ3

---

© 京都大学 大学院人間・環境学研究科  
【人間存在論】刊行会 2016

